

2024年度10月 1日



オ リ ー ス 通 信

せいしよの
ことば

ひとりよりもふたりが良い。

コヘルトの言葉4章9節

神愛保育園

「10月をむかえて」

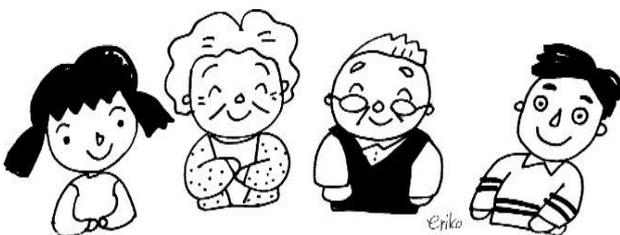
南の海上に台風が発生したという報道を耳にするたびに、今から運動会の日に向けて子ども大人も「天気になあれ」と思いが一つになっています。一生懸命練習をしている子どもたちの当日の姿が多くの保護者の方にお披露目ができたらと願っています。

今年の残暑は例年になく本当に厳しく、運動会の競技、特に3.4.5歳が一緒に形作る荒馬は何度も、森下文化センターの場所を借りて練習を行っています。昨年までは、森下公園等で練習を行っていましたが、今年の暑さは子どもはもちろん、大人にとっても厳しいため急遽森下文化センターをお借りしたという事情からです。

今まで行っていた行事が、天候の状況から今まで通りに行なえなくなってしまうのではないかという声が出席する様々な園長会で話題に上ります。話されるのは、多くの園が今年の暑さから1か月プール開きを前倒しにしたが、ほとんど入ることができなかった…。運動会を11月に変更したなどの他園の状況も聞こえてきます。園では今年は、いつもよりも熱中症警戒アラートが多いため、7月～9月は室内で過ごすことが多くなりました。プールに入る予定が急遽中止となったり、熱中症警報が出る前の短い時間に入ってしまうという状況でした。これまで保育者は、夏は水遊びやプールで過ごすことを前提に準備と計画そして安全管理に力を入れてきました。しかし、これからは、夏の室内での遊びの豊かさと充実もとても大切になり、そのための計画と準備をしっかり立てていくことを感じています。

さて、今年の9月は敬老の日に合わせて都合のつく祖父母の方が園に来ていただき、保育参観や子どもたちと交流をしていただきました。各クラスに足を運んでいただきありがとうございました。祖父母の方に、保育園の様子や遊びを含む保育内容を見てもらう機会はとても少ないと思います。祖父母の方々に、お孫さんや園の様子を見ていただくことで、保育園に対して少しでも安心感と信頼感を寄せてもらい、共に子育てを支えていく応援団になっていただきたいと願っています。

神愛保育園園長 鵜澤由記子



今月のしんあいキッチンファミリーは、

10月30日(水)に開催いたします。

予約開始は10月23日(水)10時～です。

ミルク・離乳食の食材配布は、10月22日(火)です。



9月は残暑というには厳しい暑さが続き、夏本番のような日が続きました。観測史上、最も遅い猛暑日も続く厳しさでした。下旬以降は朝晩に少し秋を感じる風が吹き、季節の変わり目を感じる気候となりました。地域では6月から始まった手足口病の流行が長く続き、園でもかかったお子さんがいました。秋は夏の感染症と冬の感染症が同時流行する時期でもあります。お子さんたちの体調を見ながら、感染症対策を続けていきます。

【インフルエンザの流行】

真夏に季節外れのインフルエンザが見られました。大きな流行の拡がりはありませんでしたが、園でもかかったお子さんがいました。10月に入り、インフルエンザワクチンの接種が始まります。接種をお考えの方は、早いタイミングで接種されると良いでしょう。その際には、かかりつけ医で予約を取ったうえでの受診をお願い致します。インフルエンザは治療薬があるので、正しく受診していただくことで、症状が軽く済むことが多いです。抗インフルエンザ薬は症状が出てから、48時間以内の服用が有効とされています。

この疾患は、登園の際意見書が必要となります。

もも組で、手洗いのお話し

9月18日にもも組で手洗いのお話しをしました。泡の石鹸は一回押せば十分ですよ、から始めて、手のひら→手の甲→指の間→爪→親指→手首の順番に洗う事をお話しました。実際に手洗いを見せた後に、子どもたちも順番に手洗いをしました。小さな手のひらに嬉しそうに石鹸をつけて、大真面目に指の間や爪を磨いていました。手洗い習慣が身につけてくれますように。



全園児健診

10月8日(火)は全園児健診があります。江東区では、年2回の受診が定められています。春と秋の健診時、欠席されたお子さんは、毎月の0歳児健診時に受診できるようにして、年2回の健診を受けられるようにしています。園医は毎月参りますので、質問やご心配なことがあった場合には、担任を通じてお知らせください。



食事だより



ひまわり組年長で朝ごはんのインタビューを始めました！

神愛保育園では例年年長クラスを対象に朝ごはんのインタビューを行っています。最初は朝ごはんの大切さについて話し、朝ごはんを食べると体がどうなるのか、栄養はどのような働きがあるのかを知った上で、まずは3個の食べ物(料理)を食べる事を目標にします。しかし3個以下だったから良くないというわけではなく、明日は3個食べられるように頑張ろうと話しています。

子どもたちの中で毎日のインタビューが定着した頃に、少し段階を上げ栄養素についての話をします。食品群を3色に色分けして(黄色→炭水化物、赤→たんぱく質、緑→野菜類などのビタミンや食物繊維など)更に深く栄養価について話していきます。各色にはどのような食材があるのかもクイズ形式で伝えるなど、子どもたちが理解しやすいように工夫しています。3個に加えて赤・黄・緑を各1つずつ食べられると、おなかもいっぱいになり体も元気になるという事で次の目標にしていきます。

年が明けて子どもたちの理解がより深まった頃に、一つひとつの食材について考えていきます。例えばジュースやスムージー、菓子パンはどの分類になるのかなど、子どもたち同士で話し合いをして進めます。

就学前の短い期間ですが、子どもたちが自分の食べるものに興味を持ち理解する機会をつくる事で食育に繋がっていきたいと思っています。



担任と栄養士でインタビューのシミュレーション



三色食品群の媒体

ひだまり

～地域の親子と園児の交流～



9月に入っても暑い日々が続きましたが、ようやく朝夕心地よい風が吹き秋の到来を感じる季節となりました。今年は猛暑で夏野菜の収穫時期が短かったので、今後秋野菜・冬野菜を育ててみよう計画しています。散歩を再開したクラスの子供たちがひだまりの野菜の成長を楽しみにして立ち寄ってもらえたら嬉しいです。少しの関わりではありますが園児と交流できることを楽しみにしています。

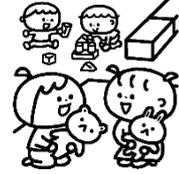
10月の運動会にはひだまり親子も一緒に参加します。楽しいプログラムですので是非ひだまり親子の競技も見てくださいね。また、11月16日(土)、1月18日(土)、2月22日(土)、3月29日(土)には「保育園であそぼう」を行います。在園児の親子の参加もお待ちしています。



9月28日に父親講座「ベビーマッサージ」を開催し8組の参加がありました。パパママ親子3人での参加や、お兄さんと一緒に参加も多く賑やかでアットホームな講座となりました。



ともにそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2024年9月9日（月） 天気 晴れ つくし組（0歳児）

ドキドキ大発見！ 秋のお散歩

久しぶりに公園へ散歩に出掛けた。靴を持ってくる子どもも増え、隣の公園で歩いてみた。A・Bは、シートからしばらく動けずにいたが、保育者に誘われ少しずつ広場へ出て歩くようになった。まだ一人で歩くのは緊張するのか、保育者に手つなぎを求める姿もあったが、慣れてくると自由に歩き回るようになっていった。途中入園のCは、保育園で初めての散歩となった。家庭の様子を聞くと、好きなところへ移動して遊ぶ姿があるとのことだったが、園では動いていいのかと戸惑う様子だった。AやB同様、保育者が誘うことで滑り台やブランコなどにも興味を示していた。Dは、ブランコの柵につかまりながら歩いていた。すると、日の当たる部分に触れ「あ！（熱い）」と気づく。先ほどまで触っていた日陰の柵に触れると熱くないことを発見し、不思議そうに何度も触ってみていた。春先には見られなかった姿が見られる散歩となった。探求心や好奇心が育っていく姿を安全に見守っていきたいと思う。

夏の間は気温が高く戸外に出ることが難しかったので、9月に入り久しぶりにお散歩に出かけることが出来た日のつくし組の日誌です。

つくし組（0歳児）の子どもたちは、首が座り、寝返り、お座り、つかまって立てるなど発達段階を踏まえて歩行が獲得されていきます。春には寝ころんで遊んでいる状態だった子どもも、座っていたり、立ち上がることで目の高さが変わり、自分のまわりにこれまで見たことがなかった、知らなかった世界があることに気がつきます。見える世界が変わることに加えて、ハイハイ、伝い歩きや歩行などの移動手段の獲得によって、興味のあるものを見つけたら自分から近づいて行き、主体的に世界に関わっていく事ができるようになっていきます。Dはブランコの柵が日向と日陰で温度が違うことを発見し、保育者に伝えていました。子どもたちは興味、関心、不思議だなと思うことを表情や指差しなど言葉にならない表現で伝えてくれるため、保育者はその思いに寄り添い言葉にしながら共感的にかかわっています。

子どもと大人が横並びの関係を持ち、同じものを見て、同じ喜びを感じて、同じ驚きを感じて…子どもたちの心に関心や感動で豊かに膨らませていきたいと思っています。



お兄さんになったよ！

今日は、朝から涼しく過ごしやすい天気であったため久しぶりの散歩へ出かけた。高森公園の遊具で「一緒にこれ乗ろう！」「一緒にやろう！」と以前よりも子どもたち同士での言葉のやり取りが増えているように感じた。また、この日Aの祖父母が遊びに来てくれた。お昼寝の時間が近づいたので、祖父母が帰ろうとすると「帰らないで！」と涙を流しそうになっていたA。「最後にちゃんとお別れしておいで！」と保育者が声を掛けると祖父母の元へ行き、様々なことを話しているようであった。すると気持ちを切り替えることが出来たようで笑顔でお別れをし、布団に入った。最後にしっかりとお別れが出来たことでAの中でもメリハリが出来たのではないかと感じた。

コロナ後、今年は敬老の日の行事として、祖父母の方の保育参加を実施しています。たくさんの祖父母の方々に園まで足を運んでいただき本当にありがとうございます。

祖父母の方々と子どもたちのかかわりを見てみると、保護者の方とのかかわり方とはまた違う姿が見えてきます。子どもたちにとって特別な日になっているようで、ほかの日の日誌にも、他のお友だちが自分の祖父母に声をかけて遊んでいると、「独り占めしたい気持ち」から泣き出してしまったという姿やうれしくなって紹介しているにもかかわらず他のお友だちが膝の上で本を読んでもらうと怒りはじめるという記事を目にしました。

日誌から祖父母の方との交流を通じて、子どもたちが様々な気持ちや葛藤を体験していることがわかります。幼児クラスになると、思いや葛藤を通じて心が成長していきます。「気持ちを切り替える」ことは大きな心の成長です。様々な葛藤を自分の中で折り合いをつけ始めていくことが3歳児クラスの大きな学びだと思えます。A君の姿に、自分の気持ちに折り合いをつける姿が見て取れます。とても大きな成長だと思えます。自分中心の社会から、様々な人がいる大きな社会で自分の思いや気持ちが通らないこともあるという体験を少しずつ経験するために幼児期の集団生活は本当に大切です。

ひまわり組になると、祖父母の方をほっといて、自分の遊びに没頭したり他のお友だちが自分の祖父母と遊ぶことに寛大になっている姿が見られます。3歳児ではまだまだ自分の大切なものや、特別感のあるものに対してなかなか手放せないようですね。



～絵本紹介～

涼しい秋風に、高く澄んだ空。大きく深呼吸したくなるような気持ちのよい季節ですね。この過ごしやすい季節に、ぜひご家庭で楽しい時間が送れますように絵本を紹介します。



「さつまのおいも」

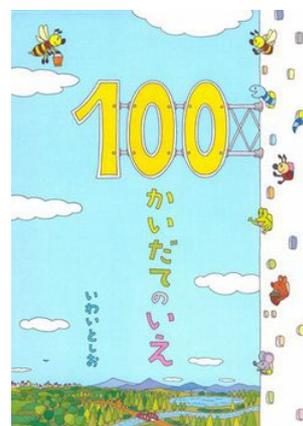
絵：村上 康成 文：中川 ひろたか 出版社：童心社

おいもは つちのなかで くらしています。ごはんも たべるし はもみがぎます。人間のように、土のなかで暮らしている、おいもたち。おやおや、何やらみんなでトレーニングをして、体を鍛えているようです。何のためかって？ それは、いもほりにきた子どもたちと、ある勝負をするため！さてさて、どんな勝負なのか、そして気になる勝敗は？
絵本を読んでのお楽しみ！

「100かいだてのいえ」

作：いわい としお 出版社：偕成社

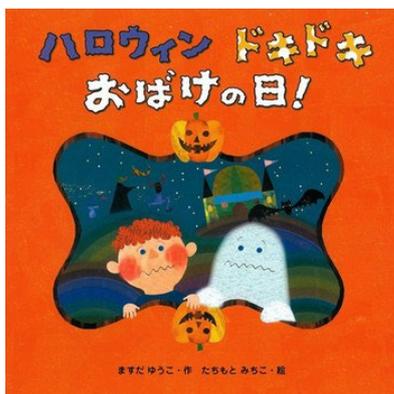
100階建ての家の最上階にすむだれかから、遊びにきてね、と手紙をもらったトチくん。地図を見ながら歩いていくと、高い建物があらわれました。上のほうはかすんでよく見えません。いろいろな動物がすむ100階建ての家の探検がはじまります！60階、70階、80階と不思議な部屋をのぼっていくうちに、どんどんてっぺんに近づいていきます。さて、てっぺんに住んでいたのは・・・！？100階建てのいえは、シリーズ化されてどれも子どもたちの驚きの声がたくさん聞こえてくる絵本です。



「ハロウィンドキドキおばけの日」

作：ますだ ゆうこ 絵：たちもと みちこ 出版社：分溪堂

10月31日は、ハロウィン・パーティ。ともだちはみんな、たのしみにしているけれど、こわがりのレイは、ゆううつ……。そんなレイのところに、こわがりおばけのシェイクがまよいこんで、さあ、たいへん?!
かんたんおばけや、たのしいパーティー料理のつくりかたなど、ハロウィンが、もっと楽しくなる豆知識付き。ハロウィン絵本の決定版です！



「バスでおでかけ」

作・絵：間瀬 なおかた 出版社：ひさかたチャイルド

「今日は素敵なおとこへ行こう」。バスでお出かけします。バスでどんどん楽しいところへ行くのに、なかなかおりません。動物園の停留所や遊園地の停留所、デパートの停留所でもおりません。もっともっと素敵なおとこへ行くんです。バスでお出かけした行き先は…？クリスマス気分たっぷりのラストにはあっと驚く素敵なしかけが入った絵本。たどり着いたところは？

